



ろうさい病院 つうしん

発行所: 中部ろうさい病院

〒455-8530 名古屋市港区港明1-10-6
<http://www.chubuh.rofuku.go.jp/>

TEL: 052-652-5511
FAX: 052-653-3533

糖尿病センターの取り組みについて



代謝内分泌内科 副院長 佐野 隆久

新年明けましてお目出度うございます。

旧年中は実地医科、歯科の先生方には患者紹介、助言等いただきまして誠にありがとうございました。本年もますますのご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

本日は糖尿病センターのご案内を少しさせていただきます。

昭和46年に糖尿病外来を開設以来皆様には多くの患者さまをご紹介いただき本当に感謝いたしております。

当センターも幾多の変遷を経て現在に至っております。

現在、医師は堀田院長を筆頭に中島代謝内分泌内科部長、長嶋医師、今峰医師、小内医師、私佐野の6名に加え、河村予防医療センター所長、金井健康診断部部長、渡会職場復帰両立支援研究センター医師の援助の元にて診療をおこなっています。

病棟は4階西病棟に24床の主科病床、副科患者を含め80名ほどの入院患者を治療いたしております。

栄養士は徳永佐枝子栄養管理室長以下6名の栄養士が外来、病棟の栄養指導を担当いたしております。

看護師、薬剤師、栄養士よりなる約20名の

糖尿病療養指導士が毎日糖尿病教室を行い、患者の病態、生活習慣、仕事内容などを考慮したオーダーメイドの治療に心がけております。

昨年より実地歯科の先生方に歯周病検査を外来にて行っていただき、ご好評を得ております。

今年10月より病棟にて糖尿病バイキング食事教室を開催いたします。入院患者対象ですがご希望の方がみえましたらご紹介ください。

労働健康福祉機構の事業の一環として本年度より五カ年計画にて勤労糖尿病患者の就労と治療の両立に対する支援プロジェクト研究(しっかり仕事を行いながら、糖尿病の治療も十分行うこと)が当糖尿病センターを中心としてスタートします。実地医科の先生方、産業医の先生方には今後何かとご支援、ご助言をお願いいたしますことがあろうかと思いますが、その節にはよろしくお願いいたします。



糖尿病バイキング食事教室風景

腎臓内科に赴任して

腎臓内科 渡辺 達人



はじめまして。名古屋大学大学院を卒業し、4月より腎臓内科に赴任いたしました渡辺と申します。近隣の諸先生方には、日頃より病診連携を通して大変お世話になっております。ろうさい病院つうしんの場を借りまして御礼申し上げます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。まことに僭越ではございますが、当院腎臓内科の紹介をさせて頂きたいと思ひます。腎臓内科が診療する疾患は、①腎不全（初期から透析導入まで）②腎炎（蛋白尿・尿潜血・むくみ）が主たるものであります。当院には、腎臓内科の専門医と、その教育を受けた医師によるチーム医療を行っています。また、看護師による腎不全指導・薬剤師による薬剤内服指導・栄養士による栄養指導も積極的に行っております。

透析療法

透析療法にも力を入れております。透析には血液透析と腹膜透析があり、当院ではいずれの治療・管理も行っております。血液透析の通院患者様も約70名ほどいらっしゃいます。

また、他院通院中の透析患者様の手術などのための一時的な入院の際の入院透析も積極的に

受けさせて頂いております。

シャントトラブル

血液透析患者様のシャントトラブル（シャントが詰まった・脱血が悪い・狭窄音がする・シャント肢が腫れる）にも対応いたします（他院様の患者さまのシャントトラブルも、事前の連絡を頂ければ、可能な限り対応させて頂いております）。逆に、当院の血液透析のベッドが満床に近づいた際には、近隣の透析施設様へ慢性透析患者様を御紹介させて頂いております。

膠原病・感染症

膠原病（リウマチ・血管炎・SLE・強皮症etc）や感染症などの治療も積極的に行っております。原因がよく分からない発熱・体重減少・倦怠感・関節痛・手足の腫れなどの患者様も御紹介いただければ幸いです。

今後も、地域の医療施設の皆様と連携させて頂き、地域医療に貢献して参りたいと考えております。諸先生方の御指導・御鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

～アレルギー性鼻炎の新しい治療法 後鼻神経切断術について～



耳鼻咽喉科 加藤 正

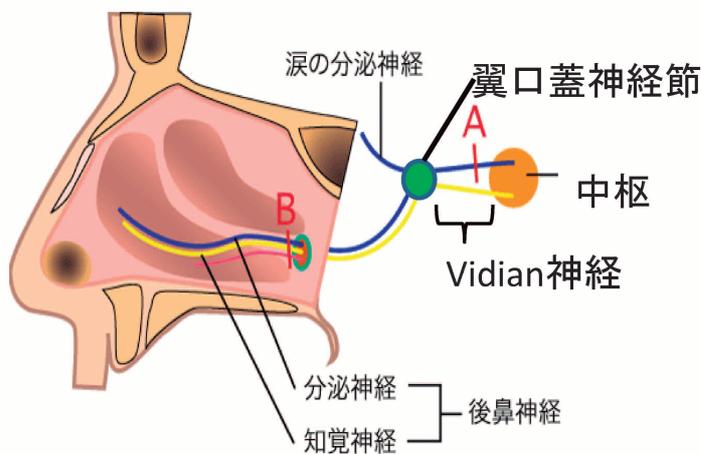
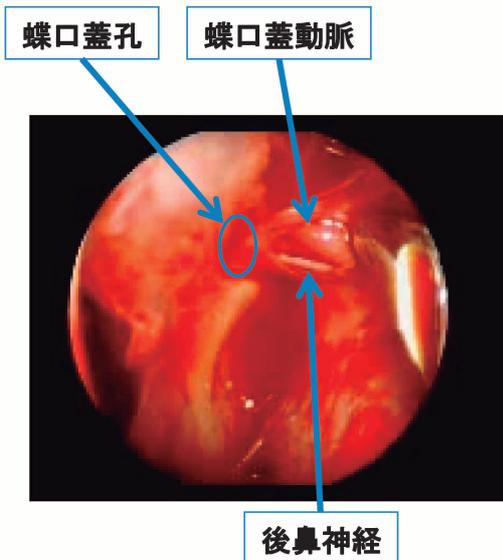
アレルギー性鼻炎は耳鼻咽喉科の中でも最も一般的な疾患の一つであり、耳鼻咽喉科でなくとも外来診療においてもしばしば遭遇する疾患です。治療法としては薬物療法、レーザーによる粘膜焼灼などがありますが、重症例では効果に乏しいこともあります。

当院ではそのような難治性の患者さんに対して後鼻神経切断術を行っております。後鼻神経はvidian神経の末梢枝であり、知覚線維と副交感線維を含んでいるのでその神経を切断することによりくしゃみと鼻汁分泌が抑制されます。涙腺枝よりも末梢側で切断するためvidian神経切断術では必発であったドライアイの症状は生

じません。鼻閉症状もある方が多く、その際は同時に粘膜下鼻甲介骨切除術、鼻中隔矯正術も行います。

手術は全身麻酔下で内視鏡を用いて鼻内よりアプローチします。術後出血のことも考え、当院では術後1週間ほど入院していただいております。費用は入院費を含めて3割負担で25万円ほどです。高額療養費の対象にもなりますので越えた分についてはさらに減額されます。

難治性のアレルギー性鼻炎でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、一度考慮していただけましたら幸いです。



A: vidian神経切断術
B: 後鼻神経切断術

連携室だより

平成21年度病病・病診連携サービス実態調査 ～ ご報告 ～

平成21年10月、近隣の医療機関を対象に「病病・病診連携サービス実態調査」を実施いたしました。調査の結果は、今後の医療連携の取り組みに役立てていきたいと考えています。ご多忙のなか、協力して下さった連携医療機関の先生方にこの場を借りて、厚く御礼申し上げます。お寄せいただいた意見をご紹介します。

ご要望

Q. 画像診断レポート等に英語表記、専門用語が多く、読み取りに時間がかかる。

A. ご不便をおかけして申し訳ありません。診療録、紹介状、診断レポートについては、極力日本語を使用したわかりやすい表記を行うよう努めます。

Q. 紹介状の返答の内容がわかりにくい。また、診療情報を手書きにされている中には、判読不能な場合もある。

A. 申し訳ありません。紹介状については、ご紹介いただいた患者さまが受診された際に受診報告をお送りして、診断が確定した場合や入院加療が必要な場合に、経過報告をお送りしています。今後は、わかりやすい内容、文字での記載はもちろんのこと、速やかに受診報告、経過報告が送付できるよう、期日管理を徹底し、必要に応じて担当副院長より直接指導することといたしました。

Q. CT・MRI等の予約がすぐに入らないので不便です。

A. 説明不足で申し訳ありません。CT・MRI等の検査予約については、連携室へお電話いただければ、ご予約いたします。単純撮影のCT・MRIであれば、その場で予約状況を確認して予約をとることができます。

Q. 各科の担当医の方の専門を教えてくださいと紹介の際に便利です。

A. ご案内不足で申し訳ありません。毎月お送りしています、「科別医師診療予定表」に各診療科の専門外来を記載していますので、ご活用ください。
ご不明な点やご照会がありましたら連携室まで、お気軽にご連絡ください。

医師交代

☆補 職 (平成21年11月1日付)	第二脳神経外科部長 佐原 佳之	眼科医師 浅野 俊哉
副院長 小林 建仁 (平成22年1月1日付)	泌尿器科副部長 千田 基宏	☆辞 職 (平成21年10月31日付)
外科部長 小木曾 清二	☆採 用 (平成21年11月1日付)	歯科口腔外科副部長 西川 雅也
第二外科部長 坂口 憲史	歯科口腔外科医師 水野 大生	リハビリテーション科医師 近藤 美菜子
第三外科部長 橋本 瑞生	リハビリテーション科医師 吉川 真里	(平成21年12月31日付)
第四外科部長 石川 玲		眼科副部長 丹羽 英康
内視鏡部長 中江 治道 (平成22年1月1日付)		

☎地域医療連携室 (平日8:15~19:30)

052-652-5950 (TEL)

052-652-5716 (FAX)

室 長：小林 建仁 (副院長)

佐野 隆久 (副院長)

事務担当：今関 信夫・金井 久実